



ここにくれげ



えろね

2018.3.11



いのちと平和と子どもたち
川口ぞうれっしゃ合唱団

川口ぞうHP <http://kawaguchizou.sakura.ne.jp>
メール kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp
TEL 048-268-9256(荒木) 261-1714(栗山) 266-1242(柴山)

東日本大震災と東電福島第1原発事故から7年が経ちました。未曾有の天災とそれに続く人災は、今もまだ大きな傷跡を残し、全国で避難生活を続けている人は、復興庁の発表で約7万3300人。この統計からは、着々と避難指示区域を縮小することによって住宅支援を打ち切られた人たちは除外されていますから、実際の避難者はずっと多く、その7割が経済不安、鬱病などなんらかの問題を抱えています。インフラ整備は追いつかず、生活再建のめども立たない状態で、支援を打ち切り、避難者としても扱わない。がん検診のデータは非公開。それどころか、異常が「過剰に見つかるから」と、がん検診そのものを縮小しようとする。

統計データをねつ造する安倍政権の姿勢は、「働き方改革」問題にとどまらないようです。

コンサートのチケットとチラシができました

いよいよコンサートのチケットとチラシができあがりしました。今日みなさんにお渡しします。

「いのちと平和と子どもたち」、心がほんわり温くなる美しい絵が、私たちのこの歌に込めるおもいを素直に表現してくれています。「もしよかったら見に来て！とっても素敵なコンサートだから！！」って、いろんな人に配ってください。ぞうれっしゃ合唱団では、チケット販売をノルマにはしていませんが、一人一人が地道に手売りしていかないと、席が埋まらないことも事実です。初めて参加した方の中には、まだ歌にも自信が持てないし、コンサートの全貌も見えてこないからなあ…なんて感じる人もいるかもしれませんが、後半の練習でどんどん素敵に仕上がっていきますから、心配しないでね。今はできるだけたくさんの人に気軽にコンサートのことをご案内しておいてください。もし、大量にチラシを配布したり、チケットを預かり販売してもらえるところがあったら、教えてください。依頼文書が必要な場合は、こちらで用意します。

練習も難しくなってきましたね

練習は、いよいよ大人だけで歌う、せつなく重要な曲になってきました。音を取るのも大変ですが、一つ一つの言葉を丁寧に伝えることが、より大切になってきます。いろいろ不安を感じて、家で練習したいという人もいらっしゃるの、これからは、次回の練習予定を簡単にお知らせするようにしますね。

アルトと男声パートの放課後練習にもふるってご参加ください。よく分からないこと、教えてほしいことがあったら、遠慮なくどんどん質問してくださいね。DVDとCDの貸し出しもご利用ください。

次の練習は3月25日です。練習場所はいつもの教育研究所ですよ。ここにくれげあえるね♪

3月25日 4月 8日 4月22日
5月13日 9:30から
 (さいたま市文化センター多目的ホール/南浦和駅西口徒歩10分)
 5月27日 6月 3日
6月10日 9:30から
 (浦和パルコ10階多目的ホール/浦和駅東口前)
6月17日 9:30から リハーサル
 (浦和パルコ10階多目的ホール)
 6月24日

7月1日 本番

練習はあと9回にや

NHKのおかあさんといっしょで1974年から13年間体操のお兄さんを務め、ぞうの第3回コンサートにもご出演くださった、セトちゃんこと瀬戸口清文さんが、3月1日にお七くなりになりました。まだ64歳でした。🎫ケッコ体操ぞうさんのあくび」等々、懐かしいですね。心からご冥福をお祈りいたします。